

平成 18 年度以降の教育課程について 最終報告以後の検討結果（最終まとめ）

検討結果（最終まとめ）	1
北海道大学全学教育科目規程別表（案）	5
実行教育課程表（案）	7
各WGの構成員	9

【資料 1】平成18年度以降の教育課程における新科目の内容等

【資料 2】1年次における履修登録単位数の上限設定について

平成 17 年 5 月

北海道大学
総長室・教育改革室
教務委員会

平成 17 年 5 月 10 日

平成 18 年度以降の教育課程について
最終報告以後の検討結果(最終まとめ)

総長室・教育改革室・教務委員会

最終報告をもとにさらに検討した結果を、北海道大学全学教育科目規程別表(案)に沿って記す。

- 1) (区分)「分野別科目」を「主題別科目」(単一分野主題別科目)に直す。
- 2) (区分)「複合科目」を「総合科目」(複数の分野を融合した総合講義)に直す。
- 3) 主題別科目の履修条件で「幅広い履修」(文系学生に対する理系教育, 理系学生に対する文系教育)の観点を確認する。「5 科目から各 2 単位, 計 10 単位以上修得」が本来の姿。「計 4・6 単位以上」等とする場合でも「2・3 科目以上」等の条件を付けるのが望ましい。
- 4) 「科学・技術の世界」の内容を見直す。文系向け理科, 科学・技術の倫理, 科学史・科学基礎論・心理学・言語情報学等関連の科目のほかに, 入門数学・理科, 図形科学概論関連の科目を加える。そのほか, 理系向けの科目は数学・理科の基礎科目及び専門科目と重複しないものに限る。
- 5) 文系向けの理科を理系の学生が履修することのないよう対策をとる(講義題目に(文系向け)と明示, 文系向けの時間帯に開講等)。
- 6) 文系の主題別科目においても文系基礎科目及び専門科目との「住み分け」を明確にする。
- 7) 入門数学・理科の内容は【資料 1 : 1,3,4 ページ】のとおり。
- 8) 現行の「体育学 A・B」を統合し, 「体育学 A」(実技。1 年次 1 学期及び 2 学期に各 1 単位開講。講義題目が異なれば, 複数個の履修が可能) 1 科目とする。そのほかに「体育学 B」(講義。2 単位)を新設する【資料 1 : 17 ページ】。体育学 A・B のうちから 1 科目を選択必修とすることができる。
- 9) 「情報学」の内容は【資料 1 : 18 ページ】のとおり。
- 10) 「図形科学概論」を「科学・技術の世界」に統合する。
- 11) 現行の「ドイツ語」等(外国語科目。2 年次 1 学期に開講。週 2 コマで 2 単位)の必修クラスについて, 教育改革室案(新設の「外国語演習」(週 1 コマで 2 単位。選択必修。1 クラス 20 人程度)に置き換える。2~4 単位を選択必修とすることができる。標準的な履修時期を指定できる。)と言語文化部案(現行と同じ。1 クラス 40 人程度)を各学部
に説明し, その意向によって決定する。

(最終まとめ)

- 12) (区分)「外国語演習」の中に「外国語特別演習」を新設し、新しい「第3外国語」の拡充をはかる。
- 13) 「外国語A」(第1外国語),「外国語B」(第2外国語),「外国語C」(第3外国語)の区別は、全学教育科目規程別表及び実行教育課程表の上では不要となる。
- 14) 本学として、外国語2カ国語必修の方針を堅持することを確認する。
- 15) 文系基礎科目の授業科目名を「人文科学の基礎」「社会科学の基礎」とする。授業内容は【資料1:19-20 ページ】のとおり。実施体制(講義担当者,開講コマ数,履修単位数,クラス編成等)については,WG及び関係4学部でさらに検討して成案を得る。
- 16) 現行の「数学概論A・B」を統合し,「数学概論」(選択科目。2年次1学期及び2学期に各2単位開講。講義題目が異なれば,複数個の履修が可能)1科目とする【資料1:2 ページ】。
- 17) 準専門系の理科基礎科目の内容は【資料1:5-7 ページ】のとおり。
- 18) 専門系の理科基礎科目の内容は【資料1:8-11 ページ】のとおり。専門系コースでは,1年次開講の基礎科目と2年次開講の互換性科目(専門科目)を合わせた計3科目の内容を,学部・系・学科・専攻ごとに一体的・連続的なものとして設計する。
- 19) 専門系の「物理学」を統合し,「物理学」(1年次1学期及び2学期に各2単位開講。講義題目が異なれば,複数個の履修が可能)1科目とする。

すなわち,「物理学」は,学部・系等ごとに「物理学(力学)」「物理学(熱力学・波動)」「物理学(電磁気学)」のうち2科目を1年次1学期及び2学期に開講する。

「化学」「生物学」についても同様。

再履修の場合に,1年次開講の基礎科目と2年次開講の専門科目(互換性科目)に互換性をもたせる方策については,個別に検討する。
- 20) 「心理学実験」(全学部向け),「基礎自然科学実験」(文系向け)を(区分)「共通科目」から「基礎科目」に移す。
- 21) 新設の「自然科学実験」(2単位)について「学士課程におけるその位置づけを見直し,コアカリキュラムとの一体化をはかる」との基本方針を確認し,理系の全学部で必修とすることを推奨する【資料1:12-16 ページ】。
- 22) 「物理学,化学,生物学,地学の4つの実験科目を融合して,自然科学実験を創設する」との方針に沿って,平成18年度以降,段階的に総合的なテーマの実験の拡充をはかる。
- 23) 「自然科学実験」の開講時期は1年次1学期あるいは2学期とする。
- 24) 全学教育科目のうち,基本部分をなす必修科目(基礎科目,外国語科目等)は,原則として1年次に開講,発展部分である選択科目(主題別科目,外国語演習等)は,できる限り1~4年次いつでも履修できる態勢を目指す。
- 25) 主題別科目,外国語演習等の3~4年次における履修を促進するための方策を全学教育委員会で検討する。特に時間割上の配慮等について関係の学部と協議する。

(最終まとめ)

- 26) 2年次における互換性科目(異なる学部で展開されている共通の内容をもつ専門科目)の拡充をはかる。学部間の協議を推進するため、互換性科目等検討WGの下に、物理学、化学、生物学、地学の科目ごとに専門部会を設ける。
- 27) 1年次における履修登録単位数の上限設定については、GPA・上限設定・成績評価実施検討WGの検討結果に沿って、平成18年度からの実現をはかる【資料2】。
- 28) 「日本語」・「日本事情」と外国語科目、教養科目等との対応関係(備考)を整理する。
- 29) 「科学・技術の世界」「総合科目」「共通科目」「外国語科目」「外国語演習」「文系基礎科目」「数学・理科基礎科目」「実験系基礎科目」等について「全学教育科目実施の手引(教職員用)」の説明を改訂・追加する。
- 30) 教育体制(責任部局の開講責任、一般教育演習等に係る全学協力、理系基礎科目等に係る全学支援、非常勤講師の採用数等)については、高等教育機能開発総合センター運営委員会・全学教育委員会・科目責任者会議で検討する。
- 31) 実施体制(開講時間帯、クラス設定、履修調整、再履修、教務情報システムと窓口事務の体制等)については、全学教育委員会・科目責任者会議・教務課で今後検討する。特に再履修については、学生に分かりやすい、シンプルで柔軟なシステムの構築を目指す。
- 32) 「TAの単位化」を具体化する。教育改革室として基本的な考え方をまとめて、関係各研究科に検討を要請する【資料1:21-22ページ】。
- 33) 今後、全学教育の新カリキュラムとの関係に配慮して、各学部の専門教育を検討・整備するにあたっては、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」(平成17年1月28日)に「学士課程教育の充実のため、分野ごとにコア・カリキュラムが作成されることが望ましい。また、このコア・カリキュラムの実施状況は、機関別・分野別の大学評価と有機的に結び付けられることが期待される。」とあること等にも留意する必要がある。
- 34) 平成18年度以降の教育課程の実施後2~3年を経て、その実施状況を点検し、必要な改善策を講じる。

今後の日程

- ・ 5月17日(火)13:30~ 全学部への「平成18年度以降の教育課程」説明会
- ・ 5月20日(金)頃 各学部へ実行教育課程表案等の作成依頼

(最終まとめ)

検討経過

自然科学実験テーマ検討WG	第1回WG	平成16年12月27日
	第2回WG	平成17年1月11日
	第1回専門部会	1月18日
	第2回専門部会	1月24日
	第3回専門部会	2月24日
	第3回WG	2月24日

互換性科目・理系基礎科目・入門科目検討WG	第1回	平成17年2月4日
	第2回	2月24日
	第3回	3月22日
	第4回	4月11日

文系基礎科目検討WG	第1回	平成17年1月24日
	第2回	2月7日
	第3回	3月8日

平成18年度以降の教育課程検討WG	第8回	平成17年2月25日
	第9回	4月19日

GPA・上限設定・成績評価実施検討WG	第1回	平成17年2月4日
	第2回	2月24日
	第3回	3月18日
	第4回	4月25日

教育改革室会議	平成16年度第7回	平成17年1月25日(各WGの設置)
	第8回	2月28日(中間報告・Q&A検討)
	平成17年度第1回	4月27日(最終まとめ検討)

教務委員会	平成16年度第5回	平成17年3月7日(中間報告・Q&A了承)
	平成17年度第1回	5月10日(最終まとめ了承)

高等教育機能開発総合センター

理系科目企画責任者会議(理学部)	平成16年度第9回	平成17年3月16日
理系基礎科目責任者会議(理・薬・工・農学部)	平成17年度第1回	4月15日
外国語科目責任者会議(言語文化部・文学部)	平成17年度第1回	4月26日

全学教育委員会	平成16年度第4回	平成17年3月2日(中間報告・Q&A報告)
	平成17年度第1回	4月27日(最終まとめ了承)

(最終まとめ)

北海道大学全学教育科目規程別表(案)

教養科目		下線部分は、改正箇所を示す	
区分	授業科目	単位	参 考
主題別科目	思索と言語	2	科学・技術の世界に「入門線形代数学」「入門微分積分学」「入門物理学」「入門化学」(講義題目)及び図形科学概論関連科目等を開講
	歴史の視座	2	
	芸術と文学	2	
	社会の認識	2	
	科学・技術の世界	2	
	(論文指導)		
総合科目	環境と人間	2	人間と文化に、民族、マイノリティー、グローバル化、多文化共生、国家と都市、戦争と平和等のテーマの講義を拡充
	健康と社会	2	
	人間と文化	2	
	特別講義	2	
一般教育演習		2	
	(論文指導)		
共通科目	体育学A	1	体育学Aを実技科目、体育学Bを講義科目(2単位)とする 図形科学概論は科学・技術の世界に統合 心理学実験、基礎自然科学実験は「基礎科目」に移す
	体育学B	2	
	情報学	2	
	情報学	2	
	統計学	2	
	インターンシップA	2	
	インターンシップB	1	
外国語科目	英語	1	講義題目に授業形態・レベル・内容を記入 ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語については各学部の意向によって決定
	英語	1	
	英語	1	
	英語	1	
	ドイツ語	2	
	ドイツ語	2	
	(ドイツ語)	(2)	
	フランス語	2	
	フランス語	2	
	(フランス語)	(2)	
	ロシア語	2	
	ロシア語	2	
	(ロシア語)	(2)	
	中国語	2	
中国語	2		
(中国語)	(2)		
外国語演習	英語演習	2	講義題目に「入門」「基礎」「初級」「中級」「上級」等のレベル別及び内容を記入
	ドイツ語演習	2	
	フランス語演習	2	
	ロシア語演習	2	
	中国語演習	2	
	イタリア語演習	2	
	スペイン語演習	2	
	朝鮮語演習	2	
	ポーランド語演習	2	
	チェコ語演習	2	
	ハンガリー語演習	2	
	ギリシャ語演習	2	
	ラテン語演習	2	
	外国語特別演習	2	

備考 主題別科目及び一般教育演習に論文指導(2単位)を開講する。

(最終まとめ)

基礎科目

区 分	授 業 科 目	単 位	参 考	
(文系)	人文科学の基礎	2		
	社会科学の基礎	2		
(数学)	線形代数学	2		
	線形代数学	2		
	微分積分学	2		
	微分積分学	2		
	数学概論	2		
(理科)	基礎物理学	2	物理学(専門系)の講義題目は「力学」「熱力学・波動」「電磁気学」	
	基礎物理学	2		
	物理学	2		
	基礎化学	2	化学(専門系)の講義題目は「化学結合論」「化学熱力学・平衡」「有機化学」	
	基礎化学	2		
	化学	2		
	基礎生物学	2	生物学(専門系)の講義題目は「細胞生物学」「生物多様性」「機能生物学」	
	基礎生物学	2		
	生物学	2		
	(実験系)	基礎地学	2	地学(専門系)は設定しない
		基礎地学	2	
	(実験系)	心理学実験	2	(全学部向け)
基礎自然科学実験		1	(文系向け)	
自然科学実験		2	(理系向け)	

日本語科目及び日本事情に関する科目

区 分	授 業 科 目	単 位	参 考
	日本語	4	
	日本語	2・4	
	日本事情	2	

備考1 日本語 及び日本語 は、教養科目の外国語科目(演習及び外国語Cを除く。)として履修することができる。

2 日本事情は、教養科目(外国語科目を除く。)として履修することができる。

(最終まとめ)

実行教育課程表(案)

学部： _____ 系・学科・専攻：

No. 1

区 分	授 業 科 目	単 位	開 講 期								備 考				
			1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次						
			1 学 期	2 学 期	1 学 期	2 学 期	1 学 期	2 学 期	1 学 期	2 学 期					
教 養 科 目	主題別科目	思索と言語	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	歴史の視座	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	芸術と文学	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	社会の認識	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	科学・技術の世界	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選			
	論文指導														
	総合科目	環境と人間	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	健康と社会	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	人間と文化	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	特別講義	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	一般教育演習	演習	[2]	選	選										
	論文指導														
	共通科目	体育学A	[1]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	体育学B	2	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	情報学	2													
	情報学	2													
	統計学	2													
	インターンシップA	2	—	—	選		選		選		選			インターンシップ A及びBの単位 は、卒業に必要な 単位数には算入で きない。	
	インターンシップB	1	選		選		選		選		選				
	外国語科目	英語	1												
			1												
			1												
			1												
		ドイツ語	2												
		()	2			()									
フランス語		2													
()		2			()										
ロシア語		2													
()		2			()										
中国語	2														
()	2			()											
外国語演習	英語演習	[2]		選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	ドイツ語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	フランス語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	ロシア語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	中国語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	イタリア語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	スペイン語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	朝鮮語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	ポーランド語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	チェコ語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	ハンガリー語演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	ギリシャ語演習	[2]			選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	ラテン語演習	[2]			選	選	選	選	選	選	選	選	選		
	外国語特別演習	[2]	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選		

区 分	授 業 科 目	単 位	開 講 期								備 考		
			1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次				
			1 学 期	2 学 期	1 学 期	2 学 期	1 学 期	2 学 期	1 学 期	2 学 期			
基礎科目	(文系) 人文科学の基礎	2											
	社会科学の基礎	2											
	(数学) 線形代数学	2											
	線形代数学	2											
	微分積分学	2											
	微分積分学	2											
	数学概論	[2]			選	選	選	選	選	選			
	(理科) 基礎物理学	2											
	基礎物理学	2											
	物理学	[2]											
	基礎化学	2											
	基礎化学	2											
	化学	[2]											
	基礎生物学	2											
	基礎生物学	2											
生物学	[2]												
基礎地学	2												
基礎地学	2												
(実験系) 心理学実験	2												
基礎自然科学実験	1	選											
自然科学実験	2	—	—										
日本語科目及び日本事情に関する科目	日本語	4	選	選									1 外国人留学生を対象として開講する授業科目である。
	日本語	2			選								
	日本事情	2	選										

- 1 「単位」の欄が [] の授業科目は、講義題目等が異なるものであれば、複数個の履修が可能な科目である。
- 2 「開講期」の欄の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を示す。
- 3 「開講期」の欄の下線は、そのうちの何れかの期に開講されることを示す。

：「必」あるいは「選必」あるいは「選」

(最終まとめ)

改革室WG「平成18年度以降の教育課程検討WG」構成員

17.04.01

	所 属 等	職名	氏 名	備 考
座長	文学研究科	教授	安藤 厚	4089
座長代理	国際広報メディア研究科	教授	大平具彦	5358
	理学研究科	教授	山口佳三	4824
	医学研究科	教授	吉岡充弘	5904
	薬学研究科	教授	有賀寛芳	3745
	高等教育機能開発総合センター	教授	小笠原正明	7515
	法学研究科	教授	鈴木 賢	3775
	情報基盤センター	教授	野坂政司	3227
	高等教育機能開発総合センター	教授	西森敏之	7517
	地球環境科学研究科	教授	中村 博	2259
	言語文化部	教授	宮下雅年	5112
	情報科学研究科	教授	栗原正仁	6855
オブザーバー	理学研究科	教授	中原純一郎	4426

(最終まとめ)

G P A ・ 上限設定 ・ 成績評価実施検討WG 構成員

平成17年1月25日現在, 教育改革室

所 属	職 名	氏 名	内 線 電 話	備 考
文学研究科	教 授	安 藤 厚	4 0 8 9	座 長 教育改革室・役員補佐
〃	〃	新 田 孝 彦	5 3 3 9	座長代理 (全学) 教務委員会委員・文学研究科長 「秀」評価及びG P A制度の実施準備検討WG
工学研究科	〃	榎 戸 武 揚	6 6 5 4	座長代理 (全学) 教務委員会委員 「秀」評価及びG P A制度の実施準備検討WG
教育学研究科	〃	須 田 勝 彦	3 0 9 2	「秀」評価及びG P A制度の実施準備検討WG
法学研究科	〃	鈴 木 賢	3 7 7 5	国際交流室・役員補佐 「秀」評価及びG P A制度の実施準備検討WG 平成18年度以降の教育課程検討WG
理学研究科	〃	小野寺 彰	3 5 8 3	全学教育委員会委員
医学研究科	〃	吉 岡 充 弘	5 9 0 4	(全学) 教務委員会委員 平成18年度以降の教育課程検討WG
農学研究科	〃	伴 戸 久 徳	3 3 4 8	教育改革室 「秀」評価及びG P A制度の実施準備検討WG
言語文化部	〃	宮 下 雅 年	5 1 1 2	教育改革室・全学教育委員会委員 平成18年度以降の教育課程検討WG
地球環境 科学研究科	〃	中 村 博	2 2 5 9	教育改革室 平成18年度以降の教育課程検討WG
高等教育機能 開発総合センター	〃	小笠原 正 明	7 5 1 5	高等教育開発研究部長 平成18年度以降の教育課程検討WG

(最終まとめ)

自然科学実験テーマ検討WG構成員名簿

平成17年4月1日現在

所 属	氏 名	内 線	備 考
座長 理学研究科	中 原 純一郎	4426	物理学実験企画責任者 ◎
座長代理 理学研究科	小野寺 彰	3583	理系基礎科目責任者会議座長 センター長補佐 ◎
座長代理 理学研究科	中 村 博	2259	教育改革室 ◎
理学研究科	加 藤 幾 芳	2684	物理学企画責任者
理学研究科	澤 村 正 也	3434	化学企画責任者
理学研究科	長 山 俊 樹	4443	生物学企画責任者
理学研究科	塚 本 尚 義	2725	地学企画責任者
理学研究科	嶋 津 克 明	2276	化学実験企画責任者 ◎
理学研究科	鈴 木 仁	2279	生物学実験企画責任者 ◎
理学研究科	川 村 信 人	3424	地学実験企画責任者 ◎
理学研究科	松 山 秀 生	4416	物理学 ◎
理学研究科	三 品 具 文	3551	物理学 ◎
理学研究科	野 寄 龍 介	2691	物理学 ◎
理学研究科	河 本 充 司	4423	物理学 ◎
理学研究科	武 田 定	3505	化学 ◎
理学研究科	坂 口 和 靖	2698	化学 ◎
理学研究科	廣 川 淳	4528	化学 ◎
理学研究科	沖 野 龍 文	4519	化学 ◎
理学研究科	高 田 泰 弘	2742	生物学 ◎
理学研究科	堀 口 健 雄	2738	生物学 ◎
理学研究科	清 水 隆	4460	生物学 ◎
理学研究科	前 田 仁一郎	4639	地学 ◎
理学研究科	森 谷 武 男	3554	地学 ◎
医学研究科	岩 永 敏 彦	5033	
歯学研究科	安 田 元 昭	4241	
薬学研究科	宮 内 正 二	3936	◎
工学研究科	市 川 恒 樹	6747	材料・化学系 ◎
工学研究科	菅 原 広 剛	6480	情報エレクトロニクス系
工学研究科	榎 戸 武 揚	6654	物理工学系 ◎
工学研究科	金 子 勝比古	6322	社会工学系
農学研究科	伴 戸 久 徳	3348	教育改革室 ◎
獣医学研究科	昆 秦 寛	5187	
水産科学研究科	工 藤 勲	5589	
文学研究科	安 藤 厚	4089	センター長補佐 教育改革室 オブザーバー

※ 備考欄の◎印は、自然科学実験テーマ検討WG専門部会構成員である。

(最終まとめ)

改革室WG「文系基礎科目検討WG」構成員

17.01.24

	所 属 等	職名	氏 名	備 考
座長	法学研究科(平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	鈴木 賢	3775
座長代理	文学研究科(平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	安藤 厚	4089
	文学研究科	教授	栗生澤猛夫	3041
	教育学研究科(全学)教務委員会委員	教授	小内 透	3093
	法学研究科	助教授	尾崎一郎	3792
	経済学研究科(全学)教務委員会委員	教授	岡部洋實	2779

(最終まとめ)

教育改革室「互換性科目・理系基礎科目・入門科目検討WG」構成員

17.02.04

	所 属 等	職名	氏 名	備 考
座長	地球環境科学研究科 (教育改革室, 平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	中村 博	2259
座長代理	理学研究科 (企画・経営室, 平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	山口佳三	4824
座長代理	高等教育開発研究部長 (平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	小笠原正明	7515
	理学研究科(物理) 全学教育委員会委員	教授	小野寺 彰	3583
	理学研究科(化学)	教授	武田 定	3505
	理学研究科(生物)	教授	山口淳二	2737
	医学研究科(平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	吉岡充弘	5904
	薬学研究科(平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	有賀寛芳	3745
	工学研究科(全学) 教務委員会委員	教授	榎戸武揚	6654
	工学研究科	教授	市川恒樹	6747
	獣医学研究科	教授	小沼 操	5215
オブザーバー	文学研究科 (教育改革室, 平成18年度以降教育課程検討WG)	教授	安藤 厚	4089